

# 2019

## 認定特定非営利活動法人 Future Code 活動報告書



Bridging to the future for global health

2020 年 6 月 1 日

# Haiti

## 無料結核検診



2019年5月〈ハイチ無料結核検診 報告〉

2日間に渡って開催いたしましたハイチ レオガンのシグノ病院での結核検診はハイリスクの62名を診察、そのうち3名に強い結核の疑いを見つけることができました。精密検査をさらに追加し、正確な診断と治療を行います。この無料の機会だからこそ病院に遠方から来院した患者も少なくありません。結核を心配して来院した患者の中で、結核ではないと診断されたことで喜んで帰っていく患者も多く、私たちとしてもこの企画を続けていく意味を感じています。

今回も顕微鏡での検査をメインに診断していますが、さらに正確に診断するために、結核菌のDNAを検出するPCR検査法を併用しています。

また、ハイチ大震災で倒壊し、日本政府の支援で再建された結核病院も常時50名ほどの患者が治療を受けており、ほぼ満床に近いほどで稼働しています。

今回も7年目となる日本人、ハイチ人混成の結核診療チームは効率よく機能し、修道院の協力もあってスムーズにプログラムは進みました。これからは次代のハイチの医療者の育成にも重点を置きつつ、この企画を継続していきたいと思います。

## 孤児院食糧および医療支援





2019 年 4 月

ハイチの孤児院で食糧支援と子どもたちの健康のチェックを行いました。この孤児院では昨年  
末も緊急の食糧支援も実施しており、大変厳しい状況の中、47 人の子どもたちが生活してい  
ます。ハイチでは食糧の問題は続いており、私たちが知る限りでもこの数年で最も厳しい状況  
にあります。子どもたちの食事、小麦粉の練ったものを草と共に煮込んだ大変質素なものが  
続いています。

今回の食糧支援に合わせて、特に状態が良くない 7 名の子どもの診察も行いましたが、その全  
員の問題の根底は、今の食糧難のために栄養不良、たんぱく欠乏の状態にあり、また鉄分の欠  
乏も著明であり、貧血が進んでいます。食糧の値段も年々上昇しており、孤児院にもそれを購  
入し続けるお金がありません。

この孤児院では以前は鶏を飼っていた小屋があり、ここで私たちも支援して多くの鶏を飼って  
いましたが、その鶏小屋も昨年のハリケーンの影響もあり、現在倒壊しています。

しかしながら今後の改善策としては、私たちとしても費用の目途がつくならば鶏小屋を再建  
し、再び鶏を飼って卵を栄養とする、もしくは卵の販売を行い、この孤児院で収益を得てもら  
う計画を思案中です。

少しでも現状の改善ができるよう、私たちも現地と話し合いを重ねながら努力したいと思います。

## 歯科検診



2019 年 5 月

ハイチの孤児院から、歯に問題がある 10 人の子どもの歯科治療を行いました。この食糧不足を抱えるハイチの孤児院では私たちも食糧支援をメインに行っており、歯の問題があっても後回しにされがちです。しかしかなり進行した虫歯の子どももあり、痛みを抱える子どもたちにとっては大きな問題です。

治療前には不安そうだった子どもも、治療後にはすっきりとした笑顔を見せてくれました。歯科治療のニーズはいくつかの孤児院からも寄せられており、今後も食糧支援と合わせて、定期的に無料歯科治療も提供していく予定です。

## ハリケーン被災病院の再建後調査とフォローアップ



2019 年 5 月

2016 年にハリケーン「マシュー」の被害を多大に受けたハイチの西の被災地、ジェレミーで私たちが再建を行ったクリニックを訪問調査しています。このクリニックは 3 万人ほどの人口エリアの医療をカバーしており、被災後の再建が急務となっていた場所でありました。

再建からしっかりと医療が住民に提供されており、一日 20 人から 30 人の患者の診察と治療を行っており、多い日には 50 人が来院しています。

今回、クリニックの運営の責任者である協会の神父様や、ここで働く看護アシスタントのスタッフと現在のクリニックの問題について話し合いました。

まだまだ医療物資の不足も時折起こり、また診療用のベッドがないなど、診療に様々な問題もあります。私たちとしてもより良い診療を提供できるよう、これからもこのクリニックの診療をサポートしていこうと思います。

## Burkina Faso



## マラリアの予防と啓発活動



2019/9月ー12月

ブルキナファソ では継続してマラリアの予防と啓蒙活動を行っております。8月は雨も多く蚊の発生も非常に多いと報告がありました。毎月2,300名を超える住民に対して現地スタッフが一軒一軒家をまわり、蚊帳の使用状況等をチェックしています。

この啓蒙活動も4年目になりますが、今ではみんな正しく蚊帳を使用しているという報告がありますが、毎日使うものなので破れたりすると新しい蚊帳が必要になってきます。

担当している村の家々をまわり、昨年配布した蚊帳の使用状況や、損傷などのチェックを行いました。現地と連携し、これから新規に配布する必要性や、また現時点での問題点の抽出を行なっていきます。



## 水と衛生の改善活動





昨年より継続中、現地調査 2019/12 月に実施

ブルキナファソの村では、子供の下痢はすぐに脱水を引き起こし、水にアクセスしにくいこの地域では子供たちは命を失う危険があります。そこで井戸水の汚染を防ぐため、井戸から適切な場所に今までに一つの村に 20 基のトイレを建設してきました。住民も好意的に生活の中に取り入れ、このトイレを使用してくれています。

今回は、昨年から担当したクーペンタンガという村でもトイレの建設のニーズが上がっており、今年度は新たに 20 基のトイレを建設開始することとなりました。この村は人口も 2000 人と多く、子供の下痢の発生を防ぐためにも現地からのニーズにできる限り応えていきたいと思っています。

## 幼児院の運営



昨年より継続中

昨年より運営を開始しているこの幼児院では、基本的な教育に加えて、医療者や先生による手指衛生の指導も行っています。小さな頃から、食べる前には手を洗う、という習慣を持つことは大切なことです。毎年多くの子どもが下痢からの脱水により命を落とすこの場所では、手を洗うという習慣をつけることが大変効果的です。

病気になって治療する、ということよりも、まず予防するということにこそ大きな意味があり、私たちとしてもマラリア対策と合わせ、この地域の乳幼児死亡率を下げることに貢献できれば幸いです。



## 2019/12 月現地調査実施

ブルキナファソで運営している幼児院を状況調査を行いました。12 月から新しい子供たちを受け入れており、今回のシーズンは 59 名の子供たちに、衛生教育を含めた教育と食事を提供しております。

この幼児院はこのピシイという村の要望と協力があって成り立っており、先生たち含め、より良い施設となるように村の皆がすごく努力しています。またこの地域には幼児院はここ以外にはない事から、近隣の村からの子供も受け入れています。昨年度に見つかった改善すべき点を解決しながら、より良い教育が提供できるよう、そして今より更に多くの子供たちを受け入れる事ができるように、私たちも現地の人々と共に努力していきたいと思います。



## その他

### 女性の雇用創出



2019/12/14 〈西アフリカ ブルキナファソ: 貧困と医療は密接な関係にある〉

病気でも病院に行くこともできないほどの貧困はまだ多く世界には残されており、これは医療



の普及に大きな障害となります。その解決の糸口として日本で販売開始し、この冬の保湿に大好評いただいておりますハダニシア ハンドクリームの原材料であるシアバター工場では、一つ一つの工程を手作業で丁寧に行っています。力仕事でも、楽しみながらやってのけるブルキナファソの女性たちの姿に勇気をもらいます。

我々もこのハンドクリームの販売を通して現地の雇用の創出を行い、医療支援を加速させるためにも、現地と共に努力を続けます。

## Bangladesh

### 医療者育成教育 EASTWEST 病院



2019年6月-9月 〈バングラデシュ EASTWEST 病院 看護師トレーニング〉

基本的な医療技術の知識の強化とトレーニングを現地看護師に提供しています。上の写真ではバイタルサイン、つまり生きている人間からでる正常、異常な兆候を捉えるトレーニングを行っています。それぞれ一人ずつ受講した全員が、実際に患者役の看護師のバイタルサインを測定し、その意味を確認しています。

それが終わった後には、医師がそれぞれに口頭試問を行って、知識の確認と、意味を考えるトレーニングを行います。

このように基礎的な知識と技術ではあっても、それをきっちりと捉えることは医療の基本。この基本がいつのまにか疎かになると、医療の質が一気に落ちてしまうため、何度も何度も体が覚えるように繰り返して行います。

この一年の間でも、この基礎の繰り返しによって飛躍的に能力が伸びた看護師もすでに数人おり、私たちとしても少しでも良い医療の提供に貢献できるなら幸いです。

## その他のイベント等



2019/4/19<バンングラデシュ ロータリークラブで女性の健康増進の啓発活動>

バンングラデシュのウッタラにあるロータリークラブで、街の女性を集め、乳がんを始めとした慢性疾患や、母子保健までの健康の認識を高める講演を行いました！

市民の病気に対する知識や、健康意識を高めることが慢性疾患や母子の健康を強化するには必須です。

今回は近年バンングラデシュで急増している癌に対する啓発が中心のプログラムでしたが、我々が取り組む母子保健の強化に対する質問も多くありました。やはり診療を受けることなく出産するケースが多いバンングラデシュでは、出産時に母子に命の危険があるような事故も多くあります。

引き続き私たちも彼女たちの期待に応えるべく、努力を続けたいと思います。

## Japan

### 講演会・講義





2019/7/2 〈近畿大学 総合社会学部での講義〉

近畿大学の総合社会学部にて、元ユニセフの安田教授と代表 大類のご縁から、「国際医療支援とビジネスへの展開」として大類の講義が行われました。

途上国における貧困と病気には密接な関係があり、医療支援だけで様々な問題を解決することはできません。如何にビジネスにおいても雇用と資金を生み出し「持続可能」な医療支援を可能とするビジョンを創り出すのか、というテーマで、現在日本で販売を開始している「ハダニシア」ハンドクリームなどのソーシャルビジネスや、どのように途上国で現地の病院運営が行われているのかについて語りました。

講義後にも、質疑応答を行い、モチベーションをどのように維持しているのか、極度の貧困を解決できる未来は来るのか、など学生さんからも質問をいただき、興味をもって講義を聞いていただいたことを嬉しく思います。

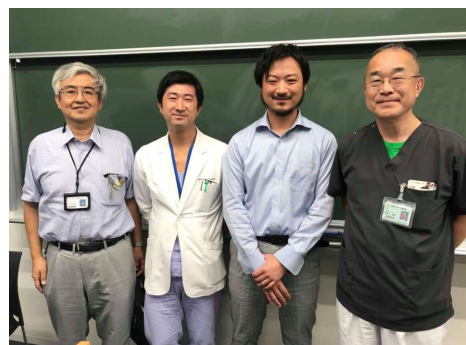


2019/7/30 〈インターアクト年次大会にて記念講演〉

千葉県にて開催されました、高校生を対象としたインターアクト年次大会にて代表 大類が記念講演を担当させていただきました。今回のテーマは「国際理解」であり、活動を通して経験した世界で起こっている出来事なども含め、世界三ヶ国の活動地での現実を語りました。

また、その後も「支援は国境を超えるのか」という大きなテーマの中では「思考する習慣」を狙いとして、より具体的な例などを考えてもらい、それぞれの班ごとに発表するフォーラムも開催され、高校生同士の活発な議論が行われました。

今回の講演とフォーラムでの経験が、インターアクトの高校生の皆様にとって少しでも将来に役立ち、記憶に残るものとなったならば幸いです。



2019/9/24 兵庫医科大学で代表 大類が「医療入門」講座で特別講師を務めました。講義のテーマは「国際保健と途上国医療の現場」であり、また医学生 of 皆さんが受講生であり、また数人の先生方も講義を聞きに来てくださり、内容は医療に重点を置いた講義となりました。日本とは異なる環境の中、どのように医療の届かない場所に医療を作り出すか、また医師としてもいろいろな仕事がある事などにも話は及びます。

兵庫医科大学は大類の母校でもあり、講義後には学生さんから、講義内容についてのみならず、医学生時代の生活などについての質問などもありました。

これから医師になっていく医学生 of 皆さんにとって、日本だけでなく世界に向けても何かを考えるきっかけとなれたなら幸いです。



2019/10/27 東熊本第二病院で、院内講演を行いました。この講演では、Future Code の活動紹介だけでなく、いかに日本の病院とバングラデシュの病院をつなげ、双方のメリットに繋がるかなどもテーマとなりました。

グローバル社会が叫ばれてから多くの環境が我々日本でも変わってきた世界の中、我々が貢献できる具体策としてこの活動が身を結ぶ事を願い、私たちも努力してまいります。





2019/11/6 流通科学大学にて例年通り、代表 大類の特別講義が行われました。これから社会へと羽ばたく学生の皆さんにとって、どのような事が世界で求められているのか、なども語られました。

講義は学生さんからの質問なども交え、双方向のコミュニケーションを行いながら進みました。

「なぜこの活動を始めようと思ったのか」「最も困難な事は何か」「なぜ途上国の現状はうまく変わらないのか」などなど、シンプルに核心に迫るものから、政策についてのものまで、沢山の質問も頂きました。

少しでも学生さんたちの将来にとって有益な時間となったなら幸いです。



2019/11/16 〈カフェバー&ギャラリー エンタスさまで講演開催しました！〉

16日に代表 大類が神戸三宮のエンタスさまで講演を開催しました。予定人数を超えて超満員で皆様にご参加いただき、大変ありがとうございました！

今回は少人数で直接、ご参加くださった皆様とお話する会であったこともあり、とても熱く共感をいただきました。私たちとしても、この活動を続け、拡大していくためにも多くの勇気をいただきました。改めて感謝申し上げます。



2019/11/29 静岡県結核予防リーダー研修に、代表の大類が登壇させていただきました。今回のご要望は「途上国の現場の結核診療について、どのようなものなのか語って欲しい」ということであり、映像を交えながらハイチでの現場の活動を中心に、また世界的な結核診療の流れや、今後私たちが取り組むべき課題などが語られました。

現状、ハイチは政治的な混乱やデモも頻発しており、大きな困難に直面しています。しかしながら、私たちもその中でも、皆様のお力を借りつつ、自分たちの出来ることを行動に移していこうと思います。



2020/2/13 沖縄で開催されました国際ロータリー地区大会「平和フォーラム」に代表 大類が登壇し、基調講演をさせていただきました。250名を超える出席者があり、パネルディスカッションにもパネリストとして登壇し、世界の現状と平和の推進になにが必要なのか、などを討論しました。

大変、ご好評いただき、激励のお言葉を多数いただきました。私たちとしても活動を通して、これからも世界の平和のために貢献していきたいという気持ちを改めて強く持ち、未来に進んでいこうと思います。





2020/2/18 大分臼杵中央ロータリークラブの創立 30 周年記念式典の基調講演に、代表の大類が登壇させて頂きました。

今回のテーマは「世界に大きな流れがうねる中、世界の片隅にある現場ではどのような真実があるのか」という、現場の真実という事を中心に、また我々自身が理想とする社会、世界とは何なのか、次世代に引き継ぐべき未来を考えようというものでした。

会場では最先端の LED ディスプレイを使いながら、迫力のある現場の映像と共にご覧頂き、講演は大盛況でありました。祝賀会でも激励のお言葉を多数いただき、30 周年という記念の講演を、皆さんにとって少しでも良いものであったならば、私たちも大変嬉しく思っております。



2020/2/25 先日、熊本で開催されました国際ロータリー熊本インターシティーミーティングで「これからの 10 年をどう生きるか」というテーマで代表 大類の講演が行われました。大変ご好評いただき、感謝申し上げます。皆様のお気持ちに応えられる活動を続けていけるよう、私たちも努力して参ります。

## イベント

神戸グローバルチャリティーフエスティバルにブース出展（学生部

BYCS 共同参加）



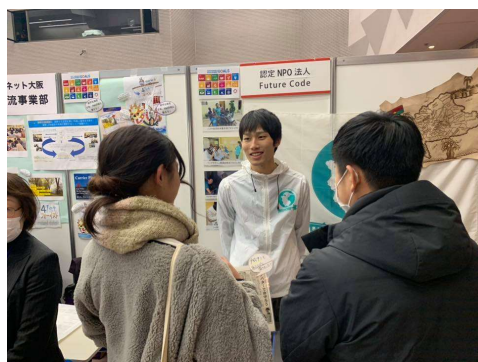
2019/11/17<Kobe Global Charity Festival 終了しました！>

4度目となるこのチャリティーフェスティバルも大盛況に終わりました！ブースを訪れてくださった方々、お忙しい中ありがとうございました！今年からはブルキナファソ 支援につながるハンドクリーム “hadanishea”の発売も行いました。

午前中にご購入いただいた方が午後にも再訪していただき、すごく良かったのでもう1本とても嬉しいお言葉をいただきました。皆様のお気持ちを胸に引き続き、スタッフ一同ハイチ・バンングラデシュ・ブルキナファソの支援活動を頑張ってまいります。

2020年2月1・2日

ワン・ワールド・フェスティバルにブースを出展（学生部 BYCS 共同参加）



〈ワンワールドフェスティバル無事終了いたしました！〉

1,2日と寒い中、沢山の方々にブースを訪れて頂きましてありがとうございました！皆さまとても真剣に活動の話に耳を傾けて頂きました。

またハンドクリームもとても好評で沢山の方にご購入頂きました。引き続き、現地に貢献できるようスタッフ一同頑張ってまいります。

その他講演会、イベント多数



## Future Code BYCS (学生部の活動)

2016年に発足した学生部 BYCS も今年度も新たなメンバーを加え活動しております。

2018年に販売開始となった、ブルキナファソで作られたシアバターを原材料にしたハンドクリーム「ハダニシア」の販売などを行っています。これは現地の雇用を生み出し、売り上げを医療支援とするために開発された Future Code の商品であり、日本での販売促進を行う事がそのまま国際協力につながるものです。

また、2019年12月に2名がブルキナファソへ渡航、2018年11月にも2名が渡航し、現地スタッフとともに、ハンドクリーム「ハダニシア」の原材料であるシアバターの工場を見学、精製の体験などを行いました。また、Future Code の活動であるマラリア対策や、トイレの建設などがどのように行われているのかを見学しました。

その他、学生部 BYCS の活動はハンドクリームの販売のみならず、ブルキナファソの紹介や、学生が行う国際協力について幅広く考え、興味のある学生に参加していただき、国際社会で生きる人材育成の場としても、多数のイベントや講演会の開催を行っています。

### ・イベント・講演会等



2019/11/23 【TSUNAGARU フェスティバル 2019】

今年で2度目の参加となるこちらのイベント、今回は商品として具体的に形となった hadanishea と私たちの活動紹介について、来場者の皆さまに知っていただくことができました！

ブースでは、ハンドクリームを試した多くの方々から、その使い心地に好評価をいただきました

また、自分たち以外の関西の国際・ボランティア系の学生団体の活動様子を知ることができ、これからの社会の担い手である同世代との繋がりを肌で感じる事ができた1日となりました。



#### 2019/12/1 【第 15 回兵庫モダンニシアファッションショー】

本日 12/1 に開催されたファッションショーにてブース出展しました！

来場された様々な年代の方に私たちの活動を知っていただきながら、過去最高の多くの方々に hadanishea ハンドクリームをお手に取っていただけました。



2020/1/25 神戸市営地下鉄海岸線 御崎公園駅にてアラウンド・アンド・アラウンド・アンドに出展いたしました。

2019 年 12 月 15 日

#### ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 参加

高校生や学生のための国際協力のイベントワン・ワールド・フェスティバル for Youth に出展しました。



その他講演・講義 多数

## Hadanishea 関連



2019/11/22 西アフリカ ブルキナファソの支援につながるハンドクリームがこの度、神戸セレクション 2020 の認定商品として選定されました！

ここ神戸の地より、アフリカ、そして世界を繋ぐ架け橋となるよう引き続き、頑張って参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。

ご購入はこちらから↓↓↓

<http://www.hadanishea.com/smartphone/>